



かめおか 市議会だより



No.204

亀岡市観光マスコットキャラクター
明智かめまる

2025年(令和7年)4月30日

議会モニターさん
1年の活動を振り返る

3月議会



フォーカス

議場で手話通訳

より開かれた議会へ

亀岡市議会では、必要に応じて手話通訳などに対応しています。

※事前申し込みが必要です。

詳しくは、議会事務局へご相談ください。

令和7年度予算

―市長質疑をはじめ徹底審査―

補正予算・条例含め全議案を可決





議会運営委員会での意見発表

令和6年度から導入された、議会モニター制度。それぞれのモニターが本会議や委員会を傍聴したことをもとに、3月末には、全員が一年間の活動報告をまとめて文書で提出されました。
それに基づいて、3月25日の議会運営委員会に出席された方に意見発表もしていただきました。

この日来られたモニターさんに、広報広聴会議のメンバーが
ひとことインタビューを行いました。

共通設問の、「1年間活動して議会のイメージは変わったか？」
「議会は身近なものになったか？」の問いには、「イメージが変わり、身近に感じられるようになった」という声が返ってきました。



課題解決への真剣な姿勢が議会にも理事者にも感じられた

もっと続けたいと思った

議会をチェックするという視点で全体を見ることができた

生活に直結する内容が多いのもっと関心を持ちたい

議会の進め方、運営の仕方がわかった

開かれた議会へ、もっと市民が参加するべき

傍聴者を誘って増やしたい

もっとモニター同士の意見交換ができれば

結果だけではなく過程を知ることができた

議会のイメージが変わった よくわかりより身近に！

活動報告された議会モニターさんに聞く

活動報告書に込められたそれぞれの意見、提言、感想などを、議会としてしっかりと受け止めて、今後の議会活動に生かしてまいります。

かめまるくんと しんがくんの 議会とーく

市制70周年に当たる節目の年 一般会計予算は過去最高に



亀岡市観光マスコットキャラクター
明智かめまる

この3月議会ではどんな議論がされて、何が決まったの？



石田梅岩イメージキャラクター
しんがくん

中心は令和7年度予算だよ。市制70周年の記念事業や来年開催される全国都市緑化フェアの関連事業など、他にも新規事業が25もある過去最高額の予算案だったよ。それらが市民福祉の増進につながるかを徹底審査したんだ。

【4・5ページへ】

予算以外に何が決まったの？



令和6年度3月末までに執行する補正予算や条例改正などだよ。学校の校舎やトイレの改修予算、消防団員の処遇改善の条例改正などが議論されたんだ。

【6ページへ】

議会モニターの皆様もこの一年間、積極的に活動されたよね。



そうだね。積極的に足を運んで本会議や委員会を傍聴されていたね。一年間の活動報告書を提出していただき、発表の機会もあったよ。出された意見が議会改革に生かされたらいいね。

【3ページへ】

議会を身近に感じてもらえるような取組はあるのかな？



広報広聴会議を中心に、昨年実施した子ども議場見学会やわかまちトークに加えて、街頭インタビューなども行っただって。



「議会だより」やSNSで今年も分かりやすく情報発信するそうだよ。

【16ページへ】

へえー、じゃあ今年度も市議会に注目だね。





産業建設分科会の現地視察（緑化フェア会場地）

その他の市長質疑項目

広報経費の、シティプロモーション事業と、ふるさと産品販路拡大プロモーション事業の、それぞれの狙いと効果は。また、両事業のすみわけはどうか？

（仮称）かめおかふるさと公社設立関連経費の、公社設立の趣旨と今後の展望は？

病院経費で、開院から20年が経過する中で、毎年、部分的に修繕を重ねるのではなく、ESCO事業（省エネルギー改修にかかる全ての経費を光熱水費の削減分で賄う事業）などを活用し、一括して大規模改修を行う考えは？

FOCUS!

竹林整備のモデル事業とは？

森林活用推進事業経費
竹林整備モデル事業（600万円）

地域資源の有効活用という観点から、持続可能なモデル事業とするための見通しと今後の展望は？
また全国都市緑化フェアとの連携は？

市長 河原林町の放置竹林の整備をモデルとして、竹炭の農業活用など竹の有効活用、循環利用にまで効果を拡大させたい。緑化フェアの京都・亀岡保津川公園の会場では、来場者に竹の魅力や新たな活用方法を伝える。

議会 道路や河川に隣接する竹林整備の財源確保や所管横断的な取組、アートや食への活用などを工夫されたい。

FOCUS!

別院中跡地をどうする？

廃校跡地の活用に係るリサーチ業務委託料（100万円）

環境とアートを組み合わせた利活用調査について、具体的な目標は何か？また、地域住民の意向確認の状況はどうか？

市長 環境・芸術で協定を結んでいる京都芸術大学に委託し、3年間で、アンケート・リサーチや分析、ワークショップなどを行い、整備計画を策定して設備改修にかかる事業について自治会長には相談している。

議会 地域のにぎわいにつながるよう、地域の声に寄り添い、説明と理解を求める努力が必要だ。

FOCUS!

重層的支援体制の整備は？

重層的支援体制整備事業経費（4778万2千円）

重層的支援体制整備事業の全体像である「かめおかモデル」の進捗状況と今後の考えは？

市長 これまでの地域連携により、相談支援、他機関協働が順調に進み、今年度は社会参加支援事業も始めた。対象者に寄り添い、共に悩み考え続ける伴走支援を粘り強く行っていく。

※重層的支援体制
子ども・障がい・高齢・生活困窮などのニーズの複合・多様化に対応するため、「属性を問わない相談支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」を一体的に実施する支援体制

指摘要望

●廃校跡地の活用に係るリサーチ業務について、調査開始前に地元住民との意見交換を必ず実施されたい。また、地域のにぎわい創出や地域課題の解決につながるよう、地域住民が参画しやすい環境づくりと地域の財産としての確りリサーチとされたい。計画や方向性の決定時点及び調査の過程において適宜議会に報告されたい。

●産学官連携事業について、整備した施設が生かされるよう地域に密着した取組を推進するとともに、今後の方針及び経過報告について適宜議会に報告されたい。また、子どもファーストクーポン事業（仮称）においては、アンケート等を活用し、本来の目的に沿った形で運用されるようデータ等を検証する中で適切に実施されたい。

市長質疑をフォーカス



議会はどこに着目しなにを指摘したのか

可決

動議から討論
活発な議論の結果
賛成多数で

予算特別委員会での慎重な審査と議論を尽くして迎えた最終日の本会議では、討論・採決の前に、複数の議員から議案を差し戻して市長に予算の組み替えを求め「動議」（議場の席上で議員が議案にない発言を行うこと）が出されました。賛成少数で却下されましたが、議会の権能を活用し、ほとんど議論を尽くすことになりました。

その後、反対・賛成それぞれの討論が行われ、令和7年度一般会計予算は賛成多数で可決されました。

3月議会では、6人の議員が会派代表質問、15人の議員が個人質問を行いました。その主な問答を掲載しています。(文責は各議員にあります。)なお、全ての質問項目や会議録は、亀岡市議会ホームページでご覧いただけます。



一般質問とは、議員が市の行政全般にわたり、執行機関に対し事務の執行状況や方針などを質問することをいいます。議長は、一般質問を行いません。

亀岡有志の会

昨年壊滅状態であった亀岡特産品小豆の支援



山木 裕也 議員

山木 昨年は、気温の変動により、農作物に多大な影響を及ぼした。京都府が全国3位の収穫高実績を誇る小豆も壊滅状態であったと

嘆きの声が上がっている。今後、異常な高温が予測されるが対策は、

市長 本年8月中旬から京都府南丹農業改良普及センターが河原林町のほ場で実証実験の見学会を計画している。また、対策支援事業として、高温対策等農業経営基盤強化事業が実施される予定である。

祝 西つっじヶ丘コミュニティバス延伸！さらなる利用促進のために

山木 亀岡地区コミュニティバス、西つっじヶ丘の路線延長を契機として、さらに利用促進を図るために地域ごとに、行き先別ルートの詳細を記載した利用ガイドを作成してみても。

市長 普段バスを利用していない市民に向けた利用促進策として有効であり、町内を運行する路線バスの時



「美山台1丁目」にバス停が新設

刻案内の配布や町民への案内を作成されている自治体もある。必要に応じて、自治会と連携していきたい。

共産党議員団

市長の政治姿勢を問う



片山 輝夫 議員

片山 ①日本原水爆被害者団体協議会のノーベル平和賞受賞への所見と講演会開催の考えは。②厳しい市民生活の実態を認識しているのか。③北陸新幹線延伸計画の中止を求めるべきでは。④大阪・関西万博の全校校外学習参加を再検討しては。

令和7年度予算見直しを

片山 ①新火葬場の地元説明会を実施しては。②全国都市緑化フェア関連事業費など建設事業費を精査し、暮らし応援に充てるべきでは。③子どもファーストクーポン事業(仮称)を全世界対象にしては。

市長 ①極めて意義深いことである。講演会の予定はない。②本市の窓口においても経済的な相談が多く寄せられており市民の暮らしが厳しい状況にあると認識している。③現ルートに反対ではないが、今後も引き続き、国の動向を注視する。④万博は、子ども達が多様な国の文化や価値観に触れ、未来社会について考えることができる貴重な体験の場であり安全に配慮し参加する。

市長 ①令和元年11月に地元説明会を開催しており、今後も丁寧に対応する。②運動公園再整備費など、全国の来場者をもてなすために必要だと考える。③子育て支援の重点施策として実施する。

掲載内容は、質問議員がそれぞれ執筆したものです。

傍聴のご案内とインターネット中継

亀岡市議会の本会議を議場でご覧いただくこと(傍聴)ができます。

- 本会議当日に市役所8階議場までお越しいただき、傍聴届に住所・氏名を記入していただくだけで傍聴できます。
- 手話通訳などをご希望される場合は、会議の1週間前までに議会事務局にご相談ください。
- 発熱されている方、体調不良の方は傍聴をご遠慮ください。

公明党議員団

教えて！ 亀岡市の財政は大丈夫なの？



林 徹司 議員

林 今後、恒久的に安定した行政運営を行うっていくためには、計画的で強固な財源確保が重要である。そこで本市の貯金と借金、そして財源確保の見直しは。

患者アンケートの声をもとに 入院食と待ち時間を改善

林 持続可能な地域医療提供体制を確保するための亀岡市立病院経営審議会の患者アンケートで、入院患者からは食事、外来患者からは待ち時間についての不満が報告されているが、改善されているのか。

病院事業管理者 愛される市民病院として、患者満足

市長 基金では、財政調整基金が35億円、減債基金が5億6千万円、ふるさと力向上基金等の特定目的基金が24億円であり、負債は401億円の見込みである。市税は7年連続100億円を超え、単年度収支は5年連続黒字ではあるが油断できない状況であるため、健全で持続可能な財政運営の維持を進めていきたい。

度は重要な課題である。入院食は治療食として定まった金額内で栄養・カロリーなどの制約の中で、おいしいと感じる食事提供に取り組んでいる。外来の待ち時間は、時間予約を基本とし、マイナンバーカードや自動精算機の利用を推奨し時間短縮を図っている。

新清流会

市制70周年「みんなに伝えたい！手話言語及び障害者コミュニケーション」事業とは



菱田 光紀 議員

菱田 市議会では、議員団研修で手話研修を行った。市制70周年記念事業として開催される「みんなに伝えたい！亀岡市手話言語及び障害者コミュニケーション」条例「事業の概要は。

市長 平成30年3月議会で制定したこの条例は、手話

葛屋重三郎が出版した「心学早染草」と石田梅岩先生のつながりをどのように伝えるのか

菱田 葛屋重三郎が出版した石門心学の道徳心を題材とした「心学早染草」と石田梅岩記念館とのつながりをどのように伝えるのか。

市長 梅岩翁の心学が弟子

言語を多様なコミュニケーション手段の一つとし、互いに人格と個性を尊重した自分らしく豊かに暮らせる社会を目指すもので、施行後6年目を迎える。10月19日に市制70周年を記念して、京都・かめおか観光PR大使の関本泰輝さん、彩羽真矢さんによる歌と手話のコラボコンサートを開催する。条例周知とさまざまなコミュニケーション手段の紹介をすることで、障がいのある人への理解が深まり、コミュニケーションの豊かなまちづくりを目指していきたい。

に受け継がれ、全国へ広まった。本年9月オープン予定の記念館でこの書物や葛飾北斎が描いたものを展示し、広く周知していきたい。

掲載内容は、質問議員がそれぞれ執筆したものです。

インターネットで本会議を視聴いただけます

ご利用の際は、インターネットの検索サイトから、下記のとおり入力いただき検索してください。

亀岡市議会 議会中継 検索 



市長の政治姿勢を聞いて、高齢者から「子育て支援」ばかりとの声をきくが



齊藤一義 議員

厚生労働省が推奨する「地域におけるデータ連携促進モデル」事業を実施し、計画どおり稼働するよう取り組んではどうか。

齊藤 本市は子育て支援だけでなく、介護保険制度における介護サービスの安定的な提供に資するため、ケアプランデータ連携システムの導入を促進し、高齢福祉も着実に進んでいるが、現場は計画どおり稼働していないと推測する。そこで、

環境先進都市として「家庭ごみの削減」を

齊藤 クリーニング店が仕上がり時に渡すナイロンカバーをごみ袋として使用可とし、市民に資源の再利用を推奨してはどうか。

市長 現在、各家庭からのプラごみは45リットル以下の透明袋で排出していただ

いているが、議員の提案はごみの減量や資源活用にも有効であり、市のホームページやSNSを活用し、市民に広く伝え、資源の再利用を推奨していきたい。

湯の花温泉のアップデート計画を！



松山雅行 議員

松山 今後、湯の花温泉が歩む方向性について、湯の花温泉観光旅館協同組合や民間事業者参画のもと計画を策定してはどうか。

将来に向けて公共施設の再配置を！

松山 本市のランドデザインを具現化する上で公共施設の配置をどのように適正化させていくのか。

市長 人口減少や少子高齢化が進み、市民ニーズの多様化や財政状況なども大きく変化している。同じ機能を有する複数の施設の統合や異なる機能をひとつの施設に複合化・多機能化を進め、余剰となった建物・

土地も民間へ売却などを行い、施設の再編整備を進める。令和8年度には亀岡市公共施設等総合管理計画を改定予定で、今年度にニーズ把握のため市民アンケートを実施する。今後、将来のまちづくりの方向性を踏まえ、配置バランスなどを考慮し、地域に必要な施設の再編整備を進める。

外国資本の土地売買などによる所有者不明のリスクに警鐘を鳴らす



原野実生子 議員

原野 本市議会は国に対して、外国資本などによる土地売買に関する法整備を求め、意見書を提出している。今回警鐘を鳴らしたいことは、不動産や土地などの所有者が海外に居住している場合に、転居されると土地等の所有者が不明になる場合がある。近隣市町村では、固定資産税の督促状を海外に送付しているが、本国で転居されると後追いで、徴税が不能になると聞く。本市でも同様の事案が起きる前に対策が必要である。また、太陽光パネル設置業

者の中には、FIIT制度(固定価格買取制度)が満了した後、太陽光パネルを放置し突然事業を撤退され、所有者が不明となる可能性がある。対策として新規事業者には、廃棄費用を含む保証金を徴収し、既存事業者には廃棄費用などの積立状況や、事業売買M&Aなどの確認ができること、よりよいのでは。

市長 太陽光パネルは、市民の話が多くハードルが高い。投資目的の土地購入者へは、監視など対策を検討する必要がある。

原野 真面目に納税している人が損をしないため、所有者不明にならないような政策を考えてほしい。

障がい者の居場所づくりは急務



三上泉 議員

三上 親が亡くなったら居場所がなくなる障がいのある方が増えており、グループホームのような居場所と必要な施設も必要ではないか。

使いやすい駐輪場へ整備を早急に

三上 新紙幣に対応する精算機導入や、台風で壊れた亀岡駅北の市営自転車等駐車場(以下:駐輪場)の屋根修理などの進捗状況は。

まちづくり推進部長 利用者や要望が多い馬堀駅前駐輪場の精算機導入費用を令和7年度予算に計上する。亀岡駅北駐輪場の修繕は6年度予

場所となる施設も必要ではないか。市として支援できないか。
健康福祉部長 障がい者の居場所は不足しており、困難を極めている。グループホームなどの施設は必要だが、市独自の支援は難しい。府に求めていきたい。
算化したのが、強硬化の見直しや物価高騰で実施できなかった。7年度予算に再度計上し、できるだけ早く取りかかりたい。
※上記の他、次の項目で質問しました。
◆水道料金の負担軽減策の創設を
◆街路樹による影響を調査して対策を
◆学校の照明はいち早くLED化を

フェーズフリーの考えに基づく防災・まちづくりなどの推進を



山本由美子 議員

山本 日常時と非常時の局所の垣根を取り払う「フェーズフリー」と呼ばれる新しい発想の防災が注目されている。この考え方をまちづくりに取り入れる考えは。

ネットの危険から子どもを守る取組を

山本 子どもを「自画撮り被害」などのネットトラブルから守るため、情報モラル教育を推進するとともに愛知県警、県内大学など産官学連携のもと開発されたAIを活用したアプリ「コードマモ」を周知・啓発してはどうか。

市長 日常で使うものを災害時にも役立つというフェーズフリーの考え方は、個人や家庭だけでなく、まちづくりを進める上でも有用である。施設の建設や改修時には防災の視点も取り入れる必要があることから、関係機関や部署とも連携を図り、市民が安心して暮らせるまちづくりを実現していく。

教育長 子どもを守るための有効な機能が備わっていると理解しているが、「コードマモ」には有料で提供される機能もあるため、他の有料アプリとの公平性の観点から関係機関とも連携しながら検討する。

障がいのある子への支援の充実を



小林 仁 議員

小林 「かめおか乳幼児教育センター」が本年4月1日から始動するが、支援内容は。

健康福祉部長 乳幼児教育・保育の質の向上、幼児教育と小

美味しいは健康のもと

小林 有機米プロジェクトを能動的に機能させるため、参加者からモニターを募り、安定した生産技術を構築しては。

市長 京都・亀岡保津川公園を有機農業の拠点として2機関に借地し、今後、実

子育て支援「子どもファーストクーポン事業(仮称)」とは?



平本 英久 議員

平本 新たな子育て支援として実施される子どもファーストクーポン事業(仮称)の詳細は。また、実施計画や時期はどうか。

災害時の支援物資の拠点『亀岡運動公園』の再整備とは?

平本 全国都市緑化フェアの開催に向け、亀岡運動公園の再整備が行われるが、どのような内容なのか。音楽イベントや空手大会に利用されるほか、災害時は支援物資の拠点になり、以前から電源の増設を求めてきたが増設するののか。

JR並河駅南側踏切の拡幅を



土岐 新 議員

土岐 JR並河駅南側の踏切と交差する道路は生活道路であり、交通量が多いが、道幅が狭く非常に危険である。踏切内の安全対策なども含め、地元自治会と協議し安全を確保できないか。

亀岡市独自の(仮称)小一サポート補助導入を

市長 現在、京都府が都市計画道路並河亀岡市独自の(仮称)小一サポート補助導入を。教育長 現時点では

本市の下水道管の現状と点検について



木村 勲 議員

木村 ①総延長、設置時期、耐用年数は。②点検方法と点検計画は。③八潮市の事故原因と本市で起こる可能性は。④本市で事故が発生した時の対応は。

本市の上下水道間の点検と現状は

木村 ①水道管の点検状況は。②設置時期、耐用年数と更新時期は。③点検方法と点検時期は。④破裂した際の対応は。

上下水道部長 ①計画的に漏水調査、点検を実施。②昭和31年までに設置され、

国民健康保険料の引き上げは再考し払える保険料にすべきでは?



大西 陽春 議員

大西 国保料を引き下げられないか。市民生活部長 市の独自努力の限界や制度上の違いもあり、引き下げは難しい。

大西 年収に対する国保料の割合が高く、払えない人の対応は。

加齢性難聴補聴器公的補助を早期に実現を



全日本年金者組合大阪府本部調べより

大西 この制度の検討結果は。

健康福祉部長 補助対象の基準が様々であり、全国一律の基準で補助することが

既存の福祉サービスの見直し検討を



富谷 加都子 議員

富谷 障がい児の通所サービスを受けやすくする環境整備として、保護者の強い要望があればセルフプランを導入しては。

健康福祉部長 セルフプランについては、身近に指定相談所がない場合に認められており、サービス事業者の連絡調整が利用者への負担になることから導入してはどうか。今後は、通所の待機状況やモニタリングができない状況を解消するため、福祉サービスを利用する保護者の支援体制を検討していく。

健康福祉部長 京都府に通勤する方にとっては十分な金額ではないと認識しているが、市独自の助成制度であり、限られた財源の中で増額することは難しく、今後は、国や府が統一した制度で運用することが望ましい。

新博物館設置場所を変更した経緯・理由は



大石 慶明 議員

大石 新博物館設置場所を旧上下水道部跡地からガレリアかめおか隣接地に変更した経緯・理由は。

市長 新博物館には展示だけではなく、

市民と一体となった70周年事業を

大石 市制70周年記念事業は、市民と一体になって実施する必要がある。その意味でも平成23年の国民文化祭で実施された「民俗芸能の祭典」のような事業ができないか。

政策企画部長 「市民とともに祝う」を

知的障がい者の紙おむつ等支給の支援制度に向けて



梅本 靖博 議員

梅本 障がい者がおられるご家族の中には、「家族に障がい者がいることを知られたくない」と思っておられる方もいる。その中で、紙おむつを使用していることも知られたくない、紙おむつの支援があれば助かるが声を上げにくいといった実態があるため、障がい者を抱えるご家族のそのような気持ちや声が届かず、制度に結びつかなかったと思う。だからこそ市長に聞いてもらいたいと思ひ、紙おむつの支援を取り上げたい。市長が感じたいことをお聞きしたい。

市長 障がい者がおられるご家族には、そのような思いがあるのだと思う。そのようなご家族の思いがあったため制度に結びつかなかったのではないかと感じたので、一度、実態調査を行いたい。ただ、療育手帳を持つている全ての方が対象となるわけではない。個人差もあるので、状況を把握し、どこかで正しく線引きしていかなければならない。どのような形で補助制度を構築できるか検討したい。

梅本 今回の質問を通じて、本市が知的障がい者とその家族の生活の実態をより深く理解し、福祉施策の充実につなげることを期待する。

治水の象徴でもある請田口から亀岡まで堤防上にS/Lを走らせたい!



福井 英昭 議員

福井 桂川の治水の象徴として、京都鉄道博物館のS/Lを走らせてはどうか。

産業観光部長 安全

市内に2カ所だけ残っている点滅信号を撤去するのは危険ではないか

福井 市道河原町余部線の点滅式信号機を撤去し、道路標識や注意喚起の表示で代替することを警察と協議しているのか。

まちづくり推進部長 令和4年に打診はあったが、継続した協議はできていない。

福井 撤去すること



市道河原町余部線路上に設置の点滅信号

総務部長 警察のデータでは安全性が向上している。

いつ起きるかわからない災害。子どもが自ら考え行動できる防災教育を



竹内 博士 議員

竹内 子どもの防災教育は、子どもの生活圏内全般で災害が起きた際に、どう行動すべきか考え、動くように、行動プランを子ども自らが

考えて緊急時に「自分で考えて動ける」防災教育こそ生きた教育と考えるが所見は。

教育長 重要な視点と考える。議員提案の行動プランの作成は、先進地の事例を参考に地域の方とも協議し、本市にあった内容で実施していきたい。

「粗大ごみ」には使えるものもいっぱいあったくない。そこで提案!

竹内 市民から出された粗大ごみの中には、まだ使える物もたくさんある。修繕して別の新しい製品として販売する仕組みを構築できないか。

市長 財源確保の観点からも検討の余地はある。ごみを魅力的なものに変えるためにはアーティストの視点も必要である。今後、環境とアートを組み合わせた取組を展開していきたい。

市長 財源確保の観点からも検討の余地はある。ごみを魅力的なものに変えるためにはアーティストの視点も必要である。今後、環境とアートを組み合わせた取組を展開していきたい。

保津川開削420年を迎え、偉大な角倉了以翁の功績と評価を問う



西口 純生 議員

事業が展開されたが、開削420年は、どのような事業を計画しているのか。

生涯学習部長 角倉了以は、息子の素庵とともに江戸時代を代表する豪商として、保津川開削を進めた、亀岡の歴史に関わる重要な人物である。

西口 来年は保津川開削420年を迎える。歴史上の人物として話題になっていく。保津川開削を実現された角倉了以翁。川の道となる画期的な流通革命を起し、地域活性化に大きく貢献してきた了以翁の発想と行動力を敬愛してきた。開削400年の時は、木造船を新造し、南郷池に船舞台を作り「了以と出会う夢開削・保津川四百夜間話」の開演や、オーストリアで見つかった120年前の保津川下りの映像上映など、了以翁に高い評価を示した大々的な記念



了以と出会う夢開削水の庵

この記念の年にむけて、角倉了以の偉業を顕彰する事業について、関係者と協議しながら事業実施に向け、検討を進めたいと考えている。

老朽化した上下水道管の適切な維持・管理を!



法貴 隆司 議員

の優先順位を決定しているのか。

法貴 老朽化が進む中、限られた予算と時間の中で、計画的な更新や改修が求められるが、どのような基準で更新や改修

水道DXを活用し、人口衛星やAIによる水道管の点検をしてはどうか

法貴 水道DXと称し、人工衛星とAIによる水道管の健康診断を行い、効率的に更新している自治体も増えてきている。これらを活用すれば

歩行で行っていた漏水調査の時間と費用を10分の1に効率化されると言われているが、水道DXに対する所見は。

上下水道部長 水道DXについてはデジタル技術を活用したメンテナンス効率の向上に期待ができる。今後は水道DXについて調査や研究を行い、業務の効率化、経営基盤の強化、サービス向上につなげていく必要があると考える。

市民にわかりやすく開かれた議会をめざして

わいわい！わくわく！

わがまちトーク大募集！

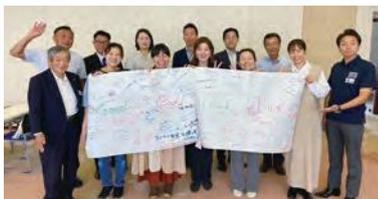


わになって話そう！
わたしも話せる！
わかちあう！

プレイバック わがまちトーク

かめたんレザミ tetote のみなさんとの
わがまちトークの様子です。(令和6年10月8日開催)

亀岡ならではの
子育ての
「良し悪し」トーク



本梅町自治会さんとの
わがまちトークの様子です。(令和6年10月18日開催)



閉校の本梅小学校
の活用法を考える

本梅町の未来を
語りました

はたちの会のみなさんとの
わがまちトークの様子です。(令和6年11月7日開催)

話しやすい
雰囲気だった

議員と接する
良い機会になった



次世代につなげる公共施設を — 政策研究会が提言書を提出 —



令和7年2月19日に
公共施設マネジメント
に関する政策研究会が
市長に政策提言書を提
出しました。
亀岡市公共施設等総
合管理計画を主眼にお
き、次世代に無理なく
つないでいける、持続
可能な施設の在り方や
耐用年数などを考慮し
た将来ビジョン、活性
化策等を研究した事項
など、今後の政策に関
する内容を提言書にま
とめました。

募集要項

【対象】市内の各団体や、グループの皆さん
【日程】令和7年は随時募集(お申し込み後に調整します)
【内容(例)】「わがまちにこんなものがあったら
いいな」「未来のまちづくりに提案します！」
など(事前にテーマを設定)
【応募方法】下記QRコードからお申し込み
ください



亀岡市議会では、「わがまちトーク」を昨
年に引き続き開催します。
地域の代表が、最優先の地域要望を市長に
伝える市の地域懇談会とは一味違って、小グ
ループに分かれたワークショップ形式で、皆さ
まと議員が一緒に、みんなで「わがまち」
の将来を気兼ねなく意見交換する場です。皆さ
んのアイデアが市の施策として実現したものも
あります。ぜひ、ご応募ください。

市民の声



議会モニター
伊藤 聡 さん

市の課題やその解決策について知る
ことができ、市政の動きを身近に感
じました。各議員が真剣に課題に向
き合い、市側も誠実に答弁されてい
る様子が印象的でした。普段の生活
では知り得ない市政の動きを知る貴
重な機会となり、議会の重要性を改
めて実感しました。市民として、
もっと関心を持ち、積極的に参加す
べきだと強く感じました。

6・9・12月議
会は議場で傍聴し、
3月議会はイン
ターネット中継を
視聴しました。
議会では、亀岡

本会議を視聴して

今年度は、このメンバーで 頑張ります。(広報広聴会議)



【広報部会】
議会だより、フェイスブック、
など、議会活動など、情報発信
活動をしていきます。

【広聴部会】
わがまちトークや子ども
も、議場見学会の開催など、
皆さんの意見や要望などの
声を広く聞く活動をして
いきます。